

証券コード 5991

**NHKニッパツ**  
日本発条株式会社

第84期

株主の皆さまへ

平成15年4月1日から平成16年3月31日

もくじ

ごあいさつ	1
製品バリエーション	3
<b>事業概況</b>	
懸架ばね部門	5
シート部門	6
精密ばね部門	7
産機・情報セキュリティ部門	8
海外部門・研究開発部門	10
<b>決算情報</b>	
単独情報	
貸借対照表	11
損益計算書	12
利益処分	12
連結情報(ご参考)	
連結貸借対照表	13
連結損益計算書	13
<b>株式概況</b>	14
<b>役員・株価の推移</b>	14
<b>株主メモ・会社概要</b>	裏表紙

当社第84期事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期の日本経済は、円高の進行や米国経済の不透明感などの不安定要因はありましたが、中国・アジア経済の好調による輸出の増加や設備投資の持ち直しなどにより、回復基調の状況下で推移いたしました。

当社の主要な得意先の自動車産業は、排ガス規制によるトラックの買い替えなどから国内販売は5,891千台で前期比0.4%の増加となりました。また、完成車輸出は欧州・アジア向け輸出の増加により、4,774千台で前期比0.1%の増加となりました。この結果、当期の国内の自動車生産台数は、10,357千台で前期比0.3%の増加となりました。

また、もう一方の主な得意先の情報機器関連産業は、パソコンの需要増に支えられ堅調に推移しました。

このような状況の中で、当社は購入品費の削減を推し進め、一層の収益構造の改革に取り組むとともに、グループ全体で事業基盤の強化に努めました。

懸架ばね部門ではごうしゅうにつせいだんこうゆうげんこうし 広州日正弹簧有限公司が本格生産を開始し、精密ばね部門では自動車エンジン用バルブスプリングの中国生産拠点としてごうしゅう 広州にっこうま でんゆうげんこうし 日弘機電有限公司を設立し、平成16年8月の稼働に向け工場を建設しております。また、HDD(ハードディスクドライブ)用サスペンションの中国生産拠点としてNAT ペリフェラル社を設立し、平成16年8月の稼働を目指しております。

以上のような経営環境のもとで、当社は活発な営業活動を展開し、販売数量を増加させた結果、当期の売上高は172,566百万円で前期比14.8%の増収となりました。

また、収益面では売上数量の増加に加え、徹底した生産性向上、合理化・原価低減活動の展開により、経常利益は6,660百万円で前期比22.9%の増益となりました。当期純利益は4,197百万円で前期比49.9%の増益となりました。

なお、当期末の利益配当金は昨年12月にお支払いしました中間配当金と同じく1株につき3円といたしました。

今後の日本経済は、金融不安やデフレ圧力が徐々に解消する傾向にありますが、依然として予断を許さない状況が続くものと思われま

す。このような状況のもとで、当社は世界最高品質の製品を提供する一方で、集中購買体制の確立により継続的に原価低減を推進し、市場のニーズにいち早く応えるための経営基盤の強化に努めてまいります。また、グループとしての最大限の力を発揮するために、経営資源の選択と集中により、各事業による戦略的なグローバル連結経営の推進に努めてまいり所存でございます。

株主の皆さまのご支援に厚くお礼申し上げますとともに、今後とも一層のご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月

取締役社長 佐々木 謙二



# ばね・シートから情報・産業機器までの ワイドバリエーション

トラック用板ばねの生産から事業を開始したニッパツ。自動車産業の成長とともに、生産品目もその種類と分野を広げ、自動車のいろいろな機能を支える製品を生産しております。

また、ニッパツの技術は自動車関連のみならず幅広いジャンルで活躍しております。マイクロメートル単位のメカニカルな部分を受け持つ精密ばね製品、IT(情報技術)の進展を支えるHDD(ハードディスクドライブ)用サスペンション、スペースを有効利用できる二段・多段式駐車装置、さらにエレクトロニクス技術を駆使した情報セキュリティ製品など、いずれも常に新しいニーズに応え、あらゆる分野にその多彩な技術で貢献しております。

## ドライバーシート

乗員のホールド性や体圧分布のバランスが良く、長時間運転しても疲れにくいドライバーシートです。



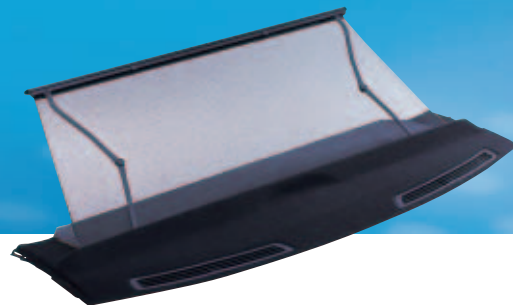
## 懸架ばね

高応力化により軽量化を図った各種懸架ばね。コンパクトなスペースにレイアウトできる「たる形ばね」。走行安定性と乗り心地向上に優れています。



## 金属ベローズ製品

メンテナンスフリーかつ抜群の耐久性を備えた金属ベローズ製品群。ガスプリング、油圧アクムレータなどとして多方面で活躍しています。

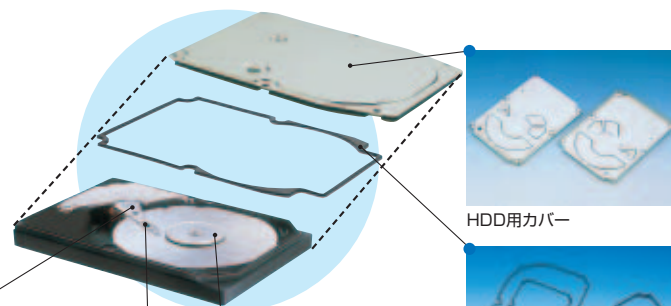


## 電動サンシェード

リヤウインドウ用で車内への直射日光を遮ります。開閉が自動で行える高級感のある製品です。

## HDD用部品

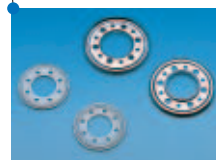
情報通信機器には高い精度と品質をもつ精密ばね・プレス品、化成品が使われています。中でもHDDのヘッドを支持するサスペンションやディスクを押さえるクランプリング、ガスケット用の薄物シート状ウレタンなどは高い評価を得ています。



HDD用キャリッジ部品



HDD用サスペンション



HDD用クランプリング



HDD用カバー



HDD用ガスケット

## 駐車装置

限られた駐車スペースを有効利用できる二段・多段式駐車装置です。マンションやテナントビルに広く利用されています。



## 線ばね

バルブスプリングやクラッチ用ばねなど車の多くの場所で使用されています。



## スーパーシール・スーパーシート

当社独自の製造技術をベースとした特殊ウレタン製品です。防水、気密、吸音などの用途に幅広く利用されています。



## キービカス

偽造防止効果の高い機械認識ホログラムを利用したビカスは、警備機器などハイセキュリティ分野で使用されています。

当部門は、優れた技術と生産体制により、市場において安定した評価と高いシェアを確保しております。当部門の強みは北米、南米、欧州、タイ、中国、台湾およびインドに12の関連会社を持ち、常に市場ニーズを取り入れて世界トップレベルの技術力、開発力、品質管理体制を維持していることであります。

また、自動車の軽量化と性能向上ニーズに応えるために開発した、高強度材料を使用している板ばね・コイルばね・中空スタビライザは、国内外の自動車メーカーに採用され順調に売上を伸ばしております。

乗用車の乗り心地の改善に対して大きな効果がある「L形コイルばね」は、米国、欧州、国内乗用車に採用され好評を得ており、今後も、数多くの採用が予定されております。

一方、自動車部品のモジュール化に対応して、懸架装置のシステム化を積極的に進めております。コイルばねとショックアブソーバを組み込んだモジュール品、スタビライザリンクと横ズレ防止用アルミリングを取り付けたスタビライザユニット、トラック用のエアサスペンションシステムなど、国内外の自動車メーカーより注目され、高い評価を得ております。

懸架装置以外の分野では、金属ベローズを応用したアキュムレータがあります。すでにこの製品は、サスペンション、エンジン燃料噴射ポンプの脈動吸収用に使用されておりますが、さらに小型、軽量化製品を開発し、ブレーキ蓄圧用などの大量に使用される用途への拡販を進めております。

金属ベローズの応用製品はアキュムレータ以外にも、医療用途として人工心肺の熱交換システム用に使われるなど、さまざまな用途で採用されております。

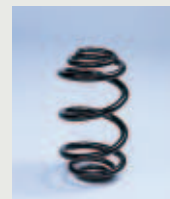
また、その他に、プレス金型用のダイスプリング、鉄道用架線の張力を一定に保つガスばねバルンサ、遮断機のバランスを調整するガススプリングなどを商品化しております。

主な営業品目

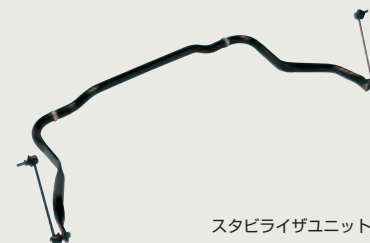
板ばね、コイルばね、スタビライザ、トーションバー、スタビライザリンク、ラジラスロッド、アキュムレータ、ガススプリング、サスペンションアーム、スタビリンカー



L形コイルばね



たる形ばね

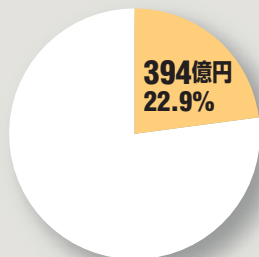


スタビライザユニット



アキュムレータ

懸架ばね部門の売上高・構成比



## シート部門

当部門は、徹底した品質管理と高い技術力があいまって、ユーザーに喜ばれる世界トップクラスの自動車用シートとサービスを提供しております。当部門の強みは、特定の自動車メーカーの系列に属さず、国内各社の乗用車、商用車のシートをデザインから設計、生産、品質管理まで一貫したシステムで供給していることにあります。国内のみならず、北米、東南アジア、中国、台湾の海外7社の関連会社でも同様に、日系自動車メーカーを中心に高い評価を得ております。

また、自動車の快適な乗り心地・安全性向上・軽量化など、ユーザーのニーズにも応えております。

快適な乗り心地を追求した表皮一体成形シート、多機能なパワーシート、エアサスペンションシート、振動吸収ウレタンパッド、安全性を向上させた高強度両側ロックリ

クライナ付きシート、衝突時にシートクッションの中のストッパーパイプが跳ね上がり乗員の傷害を軽減させるCRD(クッション・レストレイント・デバイス)などを実用化し、国内外の市場で高い評価と信頼を得て自動車メーカーに採用されております。

さらに衝突時にヘッドレストが前方に移動することにより、乗員の鞭打ち傷害を軽減させるAHD(アクティブ・ヘッドレストレイント・デバイス)をはじめ、乗員の安全確保のため、シートの新しい安全装置の開発が完了しております。

一方、自動車用内装分野では、リヤウインドウ用で車内への直射日光を遮る電動サンシェードが高級車に採用され、カーゴネット、トノカバーなど快適性向上を狙った製品もあわせて、市場の拡大に努めてまいります。

### 主な営業品目

自動車用シート、シート用機構部品(リクライニング、安全部品)および内装品(サンシェード、トノカバー)



カーゴネット付きリヤシート



CRD(クッション・レストレイント・デバイス)



両側ロックリクライナ

### シート部門の売上高・構成比

726億円  
42.1%

## 精密ばね部門

当部門の精密ばね（線ばね、薄板ばね）およびその応用機能ユニットは、自動車、二輪車をはじめとして家電製品、コンピュータなどの情報通信機器に至るまで、あらゆる分野の製品に組み込まれております。

これらの製品は、市場のニーズとたゆみない技術開発から生み出され、精度の高い材料・設計・加工技術を活かして生産され、国内外の市場で高い評価と信頼をいただいております。

中でも、HDD（ハードディスクドライブ）用サスペンションは、世界第2位の生産実績を誇っており、国内外のHDDメーカーに製品を供給しております。現在、HDDはますます高速化、大容量化しており、主要部品であるサスペンションには、より高い精度と品質が求められております。また、パソコンおよび情報家電の市場拡大により、

HDD用サスペンションの需要増加が期待されます。このような環境のもとで、国内の生産能力増強を図るとともに、中国でのHDD用サスペンションの生産を目的とした香港法人を、昨年12月に設立しました。当部門はたゆみなく新製品の開発に注力し、市場シェアの向上に努めております。

さらにHDD用部品のカバー、クランプリング、キャリッジ部品の開発は日本で行い、量産は日本とタイ（NHKスプリング（タイランド）社）の2拠点で行っております。

また、電子機器の検査に使用されているマイクロコンタクタは、その小型化、高機能化の要求に対して、世界最小といわれる微細ばねを使い、ますます細かいピッチで対応できるようになりました。

今後、さらに成長の見込まれる分野で応用製品の拡大に努めてまいります。

### 精密ばね部門の売上高・構成比



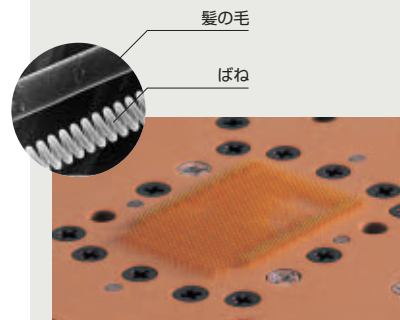
426億円  
24.7%

### 主な営業品目

HDD用部品（サスペンションおよび機構部品）、線ばね、薄板ばね、液晶・半導体検査用プローブユニット、精密接合品、精密加工品、応用機能ユニット



HDD用サスペンション「風魔」



マイクロコンタクタ



# 産機・情報セキュリティ部門

## (産機部門)

当部門は、当社のもつ各種技術を結びつけ、さまざまな分野のニーズに応える製品を提供しております。

接合・セラミック部門は、半導体製造装置用の部品を、各種の金属接合技術を応用して生産しております。特に、当社で開発した独自のアルミ合金のろう付製品は、高い評価をいただいております。また、セラミック精密部品では、光ファイバー用接続部品の販売を行っており、光通信の普及に伴い今後の売上拡大が期待されます。

プラント装置部門は、国内外に建設される発電所や石油・化学プラントに使用される配管支持装置などの生産、各種解析業務、メンテナンス工事などを行っており、高い信頼を得ております。

パーキング部門は、二段・多段式駐車装置をシリーズ化し、主にマンション向けに納入しております。当社は事業の強化を図るため、販売、施工、メンテナンス部門を分社化しており、設計から施工、メンテナンスに至る総合技術は、業界でも定評をいただいております。

化成部品部門は、防水機能を主とした特殊ウレタン製品を生産しており、幅広い市場で高い評価をいただいております。また、新製品の高密度薄物シート状ウレタンは、従来のHDD用ガスケットに加え、フレキシ印刷用クッション材、CMP研磨パッド材など、印刷分野、半導体分野での需要が拡大しております。

電子部品部門は、鉄、アルミなどの金属ベースプリント配線板のトップメーカーとしてマレーシアニッパツと連携し、グローバルな展開を行っており、ユーザーより高い評価をいただいております。また、アルミベースのプリント配線板は、放熱性や塑性加工性などの優れた特性を活かし、電源装置、自動車用電装部品などの用途に需要が拡大しております。

## 主な営業品目

(接合・セラミック)ろう付製品、セラミック製品  
(プラント)配管支持装置  
(パーキング)駐車装置  
(化成品)ポリウレタン製品  
(電子部品)プリント配線板  
(情報セキュリティ)偽造防止システム、警備端末機器、アクセスコントロール機器、カードリーダ、設計支援ソフトウェア



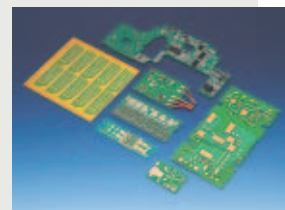
ろう付製品



駐車装置

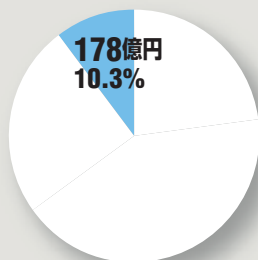


高密度薄物シート状ウレタン



金属ベースプリント配線板

## 産機・情報セキュリティ部門の売上高・構成比



### (情報セキュリティ部門)

当部門は、当社独自のセキュリティ技術を駆使して、警備防犯や偽造防止の分野を中心に事業を展開しております。

警備防犯分野については、偽造が困難な機械認識ホログラムシステム“VISCS”(ビスカス)の技術を応用した鍵と読み取り装置に加え、当期は非接触通信カードと読み取り装置が売上を伸ばしております。今後は、非接触通信技術市場の更なる拡大が予想されますので、警備防犯分野以外にも、当社の非接触通信技術応用製品の売上拡大が期待されます。

偽造防止分野については、特殊素材やホログラムを利用した技術による、有価証券や工業製品の真贋判定のためのシステムや製品を展開しております。

有価証券の偽造防止技術の一つとして、自社開発の特殊ファイバーを紙にすき込み、そのファイバーを専用センサーによって機械認識して、高速に大量の個別認識と真贋

判定を行うシステム“FibeCrypt”(ファイブクリプト)があります。このシステムの特長を活かした株券システム“IOSAS”(イオサス)は当期も新規に採用いただきました。

さらに当期は、“TNカラーシフトスレッドホログラム”を発表いたしました。これは、正面から見た場合と傾けて見た場合で色が変化して見えるフィルムを紙にすき込む技術で、機械や道具を使わずに目視で簡単に真贋判定ができるため、“IOSAS”ではカバーできない分野への展開を図っております。

主に工業製品の偽造防止技術として展開している、簡単なフィルターで真贋判定が可能なホログラムシール“トラストグラム”は、当期も大手企業の新規採用が続いており、売上も順調に推移しております。

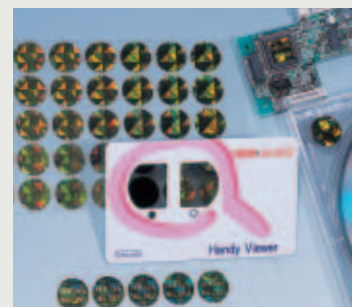
これら当社の偽造防止技術は、市場で高い評価をいただいております、今後更なる需要の拡大と新規分野への参入を図っております。



FibeCrypt(ファイブクリプト)株券



TNカラーシフトスレッドホログラム



トラストグラム

## 海外部門

当部門は、海外進出先での経済発展への貢献、地域社会との融合を基本理念として積極的に事業を展開してまいりました。

当期の主な活動としては、世界の工場として、また、大規模市場として全世界から注目を集めている中国市場に、精密ばね（バルブスプリング、チェンテンション）の生産拠点、広州日弘機電有限公司を華南地区の広州市に設立いたしました。本年8月の生産開始に向けて準備作業を進めております。また、昨年設立した懸架ばねを生産する広州日正弹簧有限公司も計画どお

りの立上げを行い、順調に受注量を伸ばしております。

一方、コンピュータ関連では、HDD用サスペンションの中国拠点として、香港に新会社NATペリフェラル社を設立し、生産工場を中国本土の東莞市に建設しており、本年8月の生産開始を目指しております。

今後も、客先への世界最適供給を実現するため、当社の12の国と地域で29社の海外拠点をフルに活用し対応してまいります。



広州日正弹簧有限公司

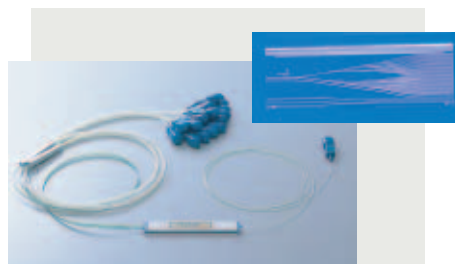
## 研究開発部門

当部門は、次世代ニーズに基づいた基幹事業の展開と新しい事業分野の開発を目指して、基盤技術から新製品に至るまでの開発を積極的に推進しております。

近年インターネットのブロードバンド対応などで注目されている光通信分野は、新たに事業化を進めている分野のひとつであります。当社では、独自の製造法により光導波路型分岐器を開発し、現在事業化を推進しております。さらに、メカトロニクス技術に基づいたITS（高度道路交通

システム）製品である車載用レーザーレーダアクチュエータや、金属細線成形技術に基づいたエンジン部品を強化するための金属繊維強化材なども新事業テーマとして取り組んでおります。

また、金属材料技術、セラミック材料技術、接合技術および地球環境問題に対応するためのリサイクル性を考慮した高分子材料技術など、基盤技術の強化も積極的に進めております。



光通信部品



金属繊維強化材



車載用レーザーレーダ  
アクチュエータ

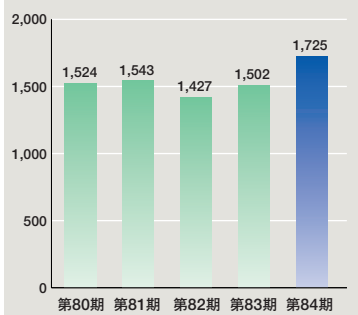
貸借対照表

(単位：百万円)

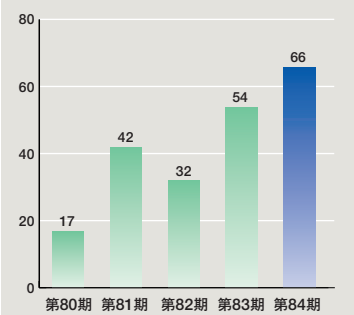
科 目	第84期 平成16年3月末	第83期 平成15年3月末
<b>(資産の部)</b>	<b>182,305</b>	<b>166,482</b>
<b>流動資産</b>	<b>77,272</b>	<b>68,480</b>
現金及び預金	6,147	5,827
受取手形・売掛金	49,175	43,099
棚卸資産	9,308	9,441
その他	12,735	10,232
貸倒引当金	△95	△120
<b>固定資産</b>	<b>105,033</b>	<b>98,002</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>55,523</b>	<b>59,196</b>
建物・構築物	23,328	24,537
機械装置	15,322	17,901
土地	12,736	12,728
建設仮勘定	1,342	1,531
その他	2,794	2,498
<b>無形固定資産</b>	<b>1,727</b>	<b>794</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>47,781</b>	<b>38,011</b>
投資有価証券	31,141	21,425
子会社株式	12,834	10,166
その他	3,888	6,539
貸倒引当金	△82	△120
<b>資産合計</b>	<b>182,305</b>	<b>166,482</b>

科 目	第84期 平成16年3月末	第83期 平成15年3月末
<b>(負債の部)</b>	<b>115,587</b>	<b>108,787</b>
<b>流動負債</b>	<b>82,890</b>	<b>69,552</b>
支払手形・買掛金	39,684	31,420
短期借入金	29,948	22,781
一年内償還社債	—	4,000
その他	13,257	11,350
<b>固定負債</b>	<b>32,697</b>	<b>39,234</b>
社債	4,000	4,000
長期借入金	13,175	19,862
退職給付引当金	15,521	15,372
<b>(資本の部)</b>	<b>66,718</b>	<b>57,695</b>
<b>資本金</b>	<b>17,009</b>	<b>17,009</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>17,295</b>	<b>16,942</b>
資本準備金	17,295	16,942
<b>利益剰余金</b>	<b>24,355</b>	<b>21,692</b>
利益準備金	3,633	3,633
任意積立金	4,691	4,727
当期末処分利益	16,030	13,330
<b>株式等評価差額金</b>	<b>8,459</b>	<b>2,764</b>
<b>自己株式</b>	<b>△402</b>	<b>△713</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>182,305</b>	<b>166,482</b>

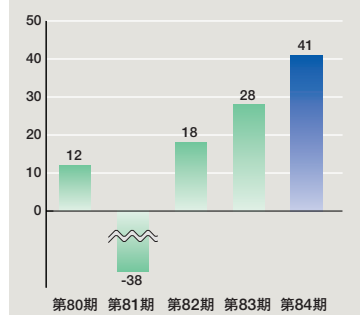
売上高 (億円)



経常利益 (億円)



当期純利益 (億円)



## 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第84期 平成15年4月～ 平成16年3月	第83期 平成14年4月～ 平成15年3月
売上高	172,566	150,266
売上原価	151,182	131,438
販売費及び一般管理費	14,771	13,774
営業利益	6,611	5,053
営業外収益	2,640	3,171
営業外費用	2,592	2,804
経常利益	6,660	5,419
特別利益	721	1,184
特別損失	1,083	2,184
税引前当期純利益	6,298	4,420
法人税、住民税及び事業税	4,080	2,370
法人税等調整額	△1,978	△750
当期純利益	4,197	2,800
前期繰越利益	12,558	11,262
中間配当額	725	732
当期末処分利益	16,030	13,330

## 利益処分

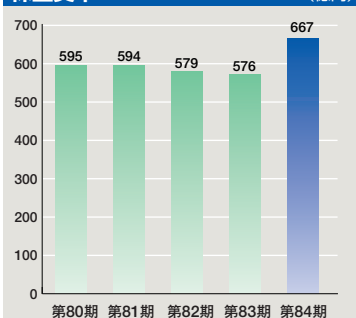
(単位：百万円)

科 目	第84期 平成16年3月期	第83期 平成15年3月期
当期末処分利益	16,030	13,330
任意積立金取崩額	168	36
計	16,199	13,367
利益処分量		
利益配当金	728	725
役員賞与金	94	83
(うち監査役分)	(11)	(8)
任意積立金	43	—
計	866	808
次期繰越利益	15,333	12,558

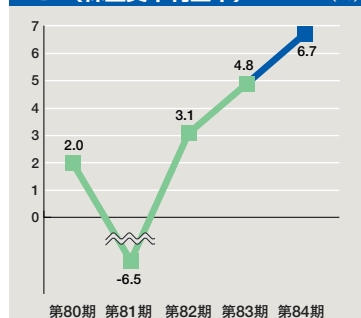
EPS(一株あたりの当期純利益) (円)



株主資本 (億円)



ROE (株主資本利益率) (%)



# 連結情報 (ご参考)

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第84期 平成16年3月末	第83期 平成15年3月末
流動資産	117,671	105,918
固定資産	148,784	140,538
<b>資産合計</b>	<b>266,456</b>	<b>246,457</b>
流動負債	126,127	110,456
固定負債	49,376	54,486
<b>負債合計</b>	<b>175,504</b>	<b>164,942</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>7,338</b>	<b>7,250</b>
資本金	17,009	17,009
資本剰余金	17,298	16,942
利益剰余金	43,385	40,054
土地再評価差額金	40	39
その他有価証券評価差額金	9,099	3,153
為替換算調整勘定	△2,728	△2,139
自己株式	△489	△796
<b>資本合計</b>	<b>83,614</b>	<b>74,264</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>266,456</b>	<b>246,457</b>

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第84期 平成15年4月～ 平成16年3月	第83期 平成14年4月～ 平成15年3月
<b>売上高</b>	<b>280,950</b>	<b>249,855</b>
売上原価	237,490	211,436
販売費及び一般管理費	30,212	29,017
<b>営業利益</b>	<b>13,247</b>	<b>9,401</b>
持分法による投資利益	868	823
その他営業外収益	2,109	1,901
営業外費用	3,518	3,929
<b>経常利益</b>	<b>12,706</b>	<b>8,197</b>
特別利益	1,082	2,407
特別損失	2,080	4,097
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>11,708</b>	<b>6,507</b>
法人税、住民税及び事業税	5,704	3,309
法人税等調整額	△1,637	72
少数株主利益	730	33
<b>当期純利益</b>	<b>6,910</b>	<b>3,092</b>

株式の状況

(平成16年3月31日現在)

発行する株式の総数	600,000,000株
発行済株式総数	244,066,144株
株主総数	19,470名

大株主

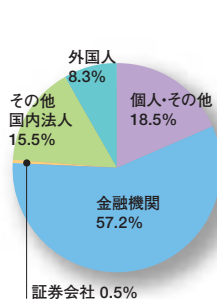
(平成16年3月31日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
三菱信託銀行 退職給付信託 大同特殊鋼口 共同受託者 日本マスタートラスト信託銀行(株)	30,892	12.7
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	23,926	9.8
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	23,392	9.6
日商岩井(株)	14,343	5.9
(株)メタルワン	11,118	4.6
みずほ信託退職給付信託神戸製鋼所口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	9,504	3.9
(株)横浜銀行	7,419	3.0
みずほ信託退職給付信託みずほコーポレート銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	5,753	2.4
(株)みずほコーポレート銀行	5,002	2.0
資産管理サービス信託銀行(株)(年金信託口)	4,071	1.7

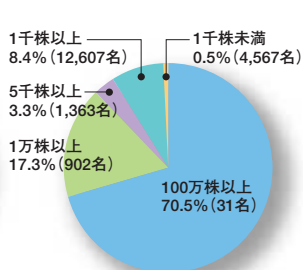
株式の分布状況

(平成16年3月31日現在)

所有者別株数比率



所有数別株数比率



中間配当

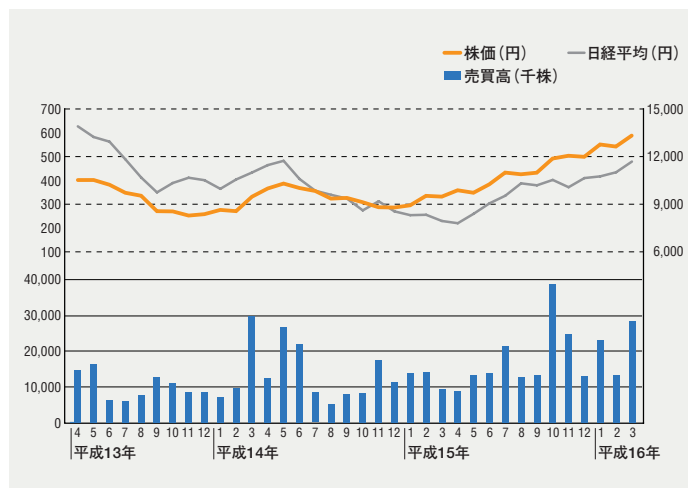
平成15年11月17日開催の取締役会の決議に基づき、同年12月5日、1株につき3円の間配当を実施いたしました。

取締役・監査役

(平成16年6月29日現在)

取締役社長	佐々木 謙二	取締役	長瀬 悠一
取締役副社長	河村 公二	取締役	永田 正男
取締役副社長	宮田 忠男	取締役	木村 雅彦
専務取締役	鈴木 啓一	取締役	野口 昌美
専務取締役	天木 武彦	取締役	玉村 和己
専務取締役	池田 勝一	取締役	山崎 章
常務取締役	石川 隆重	取締役	齋藤 哲夫
常務取締役	長澤 國雄	取締役	佐藤 繁美
常務取締役	重岡 巖	取締役	安田 滋
常務取締役	布施 武	取締役	糸井 孝夫
常務取締役	天野 一敏	取締役	塩田 和男
常務取締役	佐々木 晃一	常勤監査役	藤田 一彦
常務取締役	山口 努	常勤監査役	三宅 洋
取締役	吉田 英穂	監査役	奥村 博司
取締役	木村 敏夫	監査役	和田 譲治

当社株価・売買高の推移



## 株主メモ

- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| 1. 基準日                            | 毎年3月31日<br>その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。  |
| 2. 配当金受領株主確定日                     | 毎年3月31日および中間配当を行う場合は9月30日   |
| 3. 名義書換代理人                        | 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号<br>UFJ信託銀行株式会社  |
| 同事務取扱場所                           | 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号<br>UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  |
| 同事務取扱所<br>(お問い合わせ先)               | 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 (03)5683-5111 (代表)                 |
| 同取次所                              | UFJ信託銀行株式会社 全国各支店   |
| 4. 公告掲載新聞                         | 日本経済新聞  |
| 5. 貸借対照表および損益計算書<br>掲載のホームページアドレス | <a href="http://www.nhkspg.co.jp/ir/index.html">http://www.nhkspg.co.jp/ir/index.html</a> |

## 会社概要

(平成16年3月31日現在)

- |            |   |
|------------|---|
| 設立         | 昭和14年(1939年)9月8日  |
| 資本金        | 170億956万6,312円  |
| 従業員数       | 3,664名  |
| 本社         | 〒236-0004 横浜市金沢区福浦3丁目10番地<br>電話 (045)786-7511                   |
| ホームページアドレス | <a href="http://www.nhkspg.co.jp/">http://www.nhkspg.co.jp/</a> |
| 分館・分室      | 東京分館/横浜分室   |
| 支店         | 北関東/浜松/名古屋/大阪/広島  |
| 営業所        | 福岡  |
| 工場         | 横浜/群馬/厚木/伊勢原/伊那/駒ヶ根/豊田/滋賀/野洲                                    |
| 海外事務所      | イギリス/スペイン   |
| 国内関連会社     | 28社   |
| 海外関連会社     | 29社   |